

商 況

**民間厚板工場増産の影響** (製鐵所販賣旬報第五十號) 川崎葺合工場が昨年 11 月渡から關西市場に月額 3000 吨見當の厚板を賣出すことになり、又淺野鶴見工場が關東市場を目標にして近く同様の企てを爲すやに噂されて居る。これが市場の人気に如何なる影響を與へたかの點を檢討せむとして本所の厚板先物賣出に對する申込數量の消長を調べて見た。

先、大阪揚申込實數及最近 1 ケ年の月額平均を 100 と置いた場合の百分比を示すと次のやうになる。

積 月	申込實數	月額平均を 100 としたる場合の 100 分比	積 月	申込實數	月額平均を 100 としたる場合の 100 分比
昭和 2 年 6 月	7,672	289	昭和 3 年 1 月	645	24
7 月	5,967	229	2 月	1,656	62
8 月	4,389	165	3 月	917	34
9 月	3,241	122	4 月	889	33
10 月	2,942	111	5 月	1,512	57
11 月	1,270	48	月額平均	2,651	100
12 月	720	27			

川崎の實際賣出は 11 月からであるが、その商談は 3 4 ヶ月前から行はれ、之が市場の人気に影響し始め、11 月渡に至つて、急激に且靦面に本所に對する申込が減少した。鋭敏なる市場神經の反映手にとるが如くである。

次に東京の分に付て同様の數字を作つて見ると次の通りである。

積 月	申込實數	月額平均を 100 としたる場合の 100 分比	積 月	申込實數	月額平均を 100 としたる場合の 100 分比
昭和 2 年 6 月	2,163	91	昭和 3 年 1 月	3,222	136
7 月	2,268	96	2 月	3,998	169
8 月	2,265	96	3 月	2,842	120
9 月	2,640	112	4 月	1,406	59
10 月	1,908	81	5 月	1,416	60
11 月	1,728	73	月額平均	2,360	100
12 月	2,466	104			

初め平均近くを浮動して居た申込數量が 10 月 11 月に至つて若干を減少を見たのは、關西市場の厚板過剩が延いて關東にも影響し來るべきを憂ひた反響であらう。その實際の結果が、思ひ半ばに過なかつたので 12 月積から 3 月積頃迄平均線を突破するまで盛り返したが、此の頃から淺野鶴見の噂が立つて 4 5 月積は急に平均の半額程度に落下した。市場心裡の動き工合は東も西も變りない。

茲に特筆してお斷りして置かれねばならぬのは、上記の數字が吾等の厚板工場に、やがて來るべき減産乃至之に均しき計畫の立案を強ゆるものに非ざることである。川崎又は淺野の増産計畫が完全に實現した處で、八幡の厚板工場が注文不足の結果を來すべしとは到底豫想し得ざる目下の狀況たることを特に念を押して置く。

**三分丸輸入激減** (前同)鋼材市場の標準物であり且花形であるものは何と言つても三分丸である。今この最近 1 ケ年半の 3 港輸入高を調べて見ると次の通りである。

昭和元年 8 月	1,140	同 2 年 1 月	3,195	昭和 2 年 6 月	1,274	昭和 2 年 10 月	507
9 月	1,658	2 月	3,800	7 月	522	11 月	539
10 月	2,857	3 月	2,703	8 月	343	12 月	1,111
11 月	1,285	4 月	584	9 月	109	昭和 3 年 1 月	615
12 月	1,499	5 月	1,862				

之を各半期別の 1 ケ月平均及其の第 1 期を 100 と置いた場合の 100 分比を示すと次表の通りであつて、本所販

賣方針の反映を明示して遺憾ない。

期	1ヶ月平均		
第1期 (最初の6ヶ月)	1.939	100	
第2期 (次の6ヶ月)	同	1.791	92
第3期 (最後の6ヶ月)	同	485	25

**五月渡先物賣行概況——前月同様** 1. 條鋼 賣出數量は 1.2 小形 2,000 噸、三小形 2,000 噸、線材 500 噸、一中形 2,000 噸、二中形 2,000 噸、一大形 3,000 噸、2. 3 大形 3,000 噸、軌條 500 噸、合計 15,000 噸、之に對する申込數量次の通り

	丸	角	平	等邊	不等邊	溝	工	計
東京	2,412	258	755	1,537	142	291	299	5,694
大阪	1,131	535	1,334	1,520	1,048	441	465	6,474
名古屋	120	73	126	99	8	31	—	457
其他	488	157	502	148	—	19	7	1,321
計	4,151	1,023	2,717	3,304	1,198	782	771	13,946

棒鋼は東西共に前月に比し増加の傾向を示してゐる。東京揚の等邊山は多量の特別な建築用材を含むて増加し、大阪では前月特に増加してゐた等邊山、溝、工等が夫々減少して舊に還つてゐる。結局揚地別では東京は増加し大阪は減少し、品種別では棒鋼、山形が増加して溝、工が減少してゐる。申込總量に就いて見れば2月渡を最高とし漸減して4月渡 13,188 噸を最低とし、5月渡は 13,946 噸となつて僅かに引返したが先づ前月同様と見るべきであらう。市中の景氣が前月よりも多少悪化して來たことが買手を手控えしめる材料となつてゐたが、他面大陸市況の強調を報ずるに係らず5月渡値段据置の爲6月渡値上を豫想せしめて一般の買氣を促進し、又5月の需要期節なること及多量の特殊向先品を有したこと等相交錯し互に平凡な記録を残す様になつた。

引受數量 (定期の分と併せて) 次の通り。

工場名	品名								計
	丸鋼	角鋼	平鋼	等邊山形鋼	不等邊山形鋼	溝形鋼	工形鋼		
線材	1,137	—	—	—	—	—	—	1,137	
一小	1,705	718	4,415	553	—	—	—	7,391	
三小	7,739	334	—	871	—	—	—	8,944	
一中	473	153	2,083	—	588	102	—	3,399	
二中	821	423	—	2,466	593	—	—	4,303	
一大	—	—	—	—	1,237	1,115	436	2,788	
二大	—	—	—	2,727	395	385	335	3,842	
三大	—	—	—	120	469	—	149	738	
軌條	—	—	—	—	—	184	915	1,099	
計	11,875	1,628	6,498	6,737	3,282	1,786	1,835	33,641	

2. 鋼板 何れも申込の増加となつたが、就中、一中板及二中板製品は市場が近時特に強調を示してゐる爲激増した。

申込數量

	東京	大阪	名古屋	其他	計
厚板	1,416	1,512	534	757	4,219
一中板	3,543	3,165	105	366	7,179
二中板	3,856	4,783	145	1,053	9,837
計	8,815	9,460	784	2,176	21,235

賣出及引受數量

		賣出數量	決定數量
厚	板	2,500	4,055
一	中板	500	617
二	中板	1,200	1,700
	計	4,200	6,372

外に定期 1,200 噸

3. 線材 先行の市況悪化を豫想しつつも未だ著しい入荷がないのと針金の賣行良好なので依然好相場を持し今月も相當多量の申込となった。

線	材	割 當 { 1,000 2,600	申 込 { 4,090 —	決 定 { 1,000 2,600
製	針 材			

外に定期 500 噸

輸入愈々減少 昨年 10 月より本年 1 月迄の 3 港輸入左の通り。

品 種 別	10月	11月	12月	1月	品 種 別	10月	11月	12月	1月
丸	2,168	2,450	3,518	2,405	厚 0.7 耗以上鋼板	4,325	2,211	3,421	2,501
角	535	481	664	498	厚 0.7 耗以下鋼板	16,680	14,019	11,441	11,488
平	1,050	1,483	1,894	1,312	鋳 力 板	1,618	7,635	8,053	5,830
等 邊 山	1,240	878	2,084	1,465	重 軌 條	5,187	1,078	2,522	861
不 等 邊 山	1,103	314	554	548	輕 軌 條	1,128	389	1,989	2,109
工 溝	2,604	1,408	2,977	1,137	線 材	3,606	6,253	5,665	6,450
	1,017	1,660	1,191	919	計	42,789	40,205	45,973	37,523

各品種に就て見るに先づ昨夏東京市場を風靡した黑板市場のパニックが 12 月 1 月の黑板輸入數字の減少となつて表れたのが著しい變動である。鋳力板は引續き多量輸入されてゐるが其大部は直接實需家に行くもので、100 封度、170 封度等の市場品は別表に示すが如く僅少であつて市場好況の主因をなしてゐる。線材は最近の高潮時代以前の約定に屬するが故に未だ多くの輸入を見ぬ。軌條では重軌條は殆んど見る影もなく、只輕軌條のみ昨年 7. 8 月の交大陸品慘落を目指した買付品が段々多量に入荷されてゐる。

近時激減した條鋼類は 12 月に至つて僅かに増加し、1 月に入り一段と減少した。12 月條鋼増加の中丸鋼は 9 耗の内地品薄見越品、等邊 1 吋乃至 1 吋半工形は 10 吋以上の増加で内地生産の充分でないのと採算上有利と見て行はれたものである。鋼板 12 月増加は神戸揚造船材料の稍多量に存したに因る。

前記品種の總計に依れば輸入減少の大勢は現在と雖何等の變動を來さぬ。12 月に示して極めて小さき波瀾も全然偶然的理由により其間に共通な普遍的原因がない。寧ろ 1 月の輸入高が近時の最少レコードを示すに依つて見れば輸入趨勢は最近に至つて更に減少の度を加ふるものと見る外はない。而して我市場に劃時代的の響影を與へた本所定期契約成立の外品輸入高に及すべき効果が 12 月 1 月頃に至つて漸く表れ出づべき事實と相顧み、かゝる趨勢を誘導した有力な一因を理解し得るであらう。

**外輪需給大觀** (製鐵所販賣旬報 52 3 月 21 日) 最近 6 箇年間に於ける外輪の内地産高及輸入高は下の通りである。

本所の分大正 11 年より昭和元年度迄は年度により其の他は曆年による。

年 次	本所生産	住友生産	輸入	計	年 次	本所生産	住友生産	輸入	計
大正 11 年	5,194 噸	8,243 噸	1,67 噸	14,706 噸	昭和 元年	4,286 噸	8,440 噸	860 噸	13,586 噸
" 12 年	4,076	7,057	1,009	12,142	" 2 年	7,638	11,216	1,105	20,258
" 13 年	3,407	6,651	1,542	11,600	1 箇年平均	4,705	8,005	1,279	13,990
" 14 年	3,630	6,437	1,591	11,658	%	34%	57%	9%	100%

全需要に對する 1 割以下の輸入は蓋し已むを得ざるの数であるが故に、外輪は先以て自給自足の域に達して居るものと看做して差支があるまい。

**鋳力板市況——四月渡先物** (前同) 外國品が多少入荷されてゐるが地場の好調には變りはない。本所の

4月渡鐵力板は市場向賣出 600 噸、申込 1.166 噸、決定 600 噸、決定數量を品種別にすれば

	170 封度	100 封度	オイルサイズ	計
市場向	200	320	73	600
實需向	60	50	200	300

現在の外註値段は次記見當である。

100 LBS	英國品	(£ 1—0—0	米國品	( \$ 5.15
170 LBS		( 1—16—0		( 9.30

**最近の大陸鋼材價格の變化**

(前同)大戰後の鐵價低落の趨勢裡にありて、最近歐洲大陸に於て遂げたる

目醒しき鋼材の昂騰は、一昨秋の國際製鋼カルテル成立當時の騰貴と相比肩すべき一大壯觀なり。

次に最近數箇月間の The Brussels Iron & Steel Exchange の取引概況と相場中値を摘記し大陸に於ける價格變

遷の跡を辿らんとす。

會合月日	棒鋼	工形	大形山形	鋼板 <sup>3/16</sup>	會合月日	棒鋼	工形	大形山形	鋼板 <sup>3/16</sup>
昭和元年 10月 12日	4-12-6	4-7-6	4-12-3	6-0-0	21日	4-17-9	4-7-9	4-16-6	5-19-6
19日	4-13-6	4-7-9	4-13-3	5-19-0	同 2年 1月 4日	4-17-6	4-7-3	4-14-6	
26日	4-14-6	4-7-9		5-19-0	11日	4-16-9	4-7-3	4-14-6	5-18-6
11月 2日	4-15-0		4-14-0	5-19-3	18日	4-17-6	4-7-3	4-14-6	5-18-3
9日	4-15-3	4-7-9	4-14-0	5-19-6	25日	4-19-6	4-8-3	4-16-6	5-19-0
16日	4-16-0	4-7-9	4-14-3	5-19-6	2月 1日	5-2-3	4-11-6	5-0-0	6-0-0
24日	4-16-0	4-7-9	4-14-0	5-18-9	8日	5-2-3	4-11-6	5-0-0	6-0-0
30日	4-15-9	4-7-3	4-13-9	5-18-3	15日	5-5-0	4-13-9	5-1-6	6-2-6
12月 7日	4-17-6		4-13-0	5-18-3	22日	5-6-6	4-14-6	5-2-6	6-6-0
14日	4-17-6	4-7-6	4-14-6	6-0-0					

F.O.B アントワープ、單位磅

以表に見るが如く昂騰の經過を4期に分つことを得。

1. 第1期は昨年10月中旬に始まる。漸落を辿り來りし市況は10月前半最安値に到達し、中旬に至りて俄然好轉の機運に恵まれたり。之が主たる原因は一般需要の擡頭及び翌年1月より實施の豫定なりし8時間労働制によりて獨逸の値上並に輸出市場よりの撤退を想像せられしことにあり。其後約月餘に亘り需要依然良好にして、且つ相當の註文を得しこと、白國、ルクセンブルクに於ける貸金増額要求等ありて漸次メーカーを硬化せしめしにより相場は終始強調を以て推移せり。11月末内外の需要減退するに及んで市況漸く軟化の兆あり。

2. 昂騰の第2期は12月初旬獨逸鐵鋼労働者の總罷業に關する報道を動機とし大陸市場を沸騰せしめたり。約半箇月間罷業問題の成行混沌として端倪を許さず、買氣旺盛にして鋼材は全般に昂騰せしが、やがて獨逸労働長官の罷業仲裁と共に解決の曙光見え、買手の軟化豫想により、取引閑散となり漸次以前の狀態に歸らんとする傾向ありき。

3. 昂騰の第3期は本年1月中旬以後。獨逸の8時間労働制實施による生産費増加の結果は獨逸の價格を上伸せしめ他の大陸諸國も追隨して價格を引上ぐべしとの一般の豫想は追々實現し、佛國にありては新に成立せし半成品ジイストの國內シナケートの新高値發表となり、獨逸にありては鐵鋼業組合の價格引上となれり。且獨逸は殆んど鋼材市場に其競争力を失ひしのみならず獨逸より他國への買付増加をすら見るに至りしこと及び南米、東洋其他海外方面の需要が漸増せしこと等の爲相場は3度躍進を遂げたり。2月初旬に至り高値に阻まれしと買手の先行警戒により取引減少せり。

4. 第4回の昂騰は2月中旬再度海外註文の殺到を以て初まりしか、而もメーカーは既に多量の註文を擁せる關係上少數メーカーの投機的強氣により著しく價格の上伸を見、且つ鋼片類の騰貴が相因果して之を助けたるものゝ如し。

**東京市況**

(前同)先月は不需要期に加へて總選舉などに祟られて荷動きは至極閑散であつたが其割には値崩れ

もせず辛ふじて保合つて来た。それは1は今年こそは關稅見越輸入も大した事はなく入荷も些もないのと今1は何と云ふても海外高が主要な原因を成して居るのは争はれぬ事實である。3月に入つてからは當所の3圓高に連れて共販の値上げ及海外の強調に依つてバーは一擧に大體2圓拂みの引き締りを見せ、陸會や型物會も協定を設けて賣抜けを防ぎ、地場の安定を劃策して居るが、資金關係などから賣り急ぐ向もあるのと此値段の繼續性に對して疑懼の念を持つ先行の不安から兎角見送り勝ちの者もあるので、思ふ程の上伸も荷動きもなく、随つて買付けも躊躇される模様で、當所6月渡も例月に比して4-5,000噸の減少を見せて居る。概して云へば強氣構へてはあるが地場はそれほど伸びては居ないと見て居る向が多い様である。

然し海外も強調の原因から見れば最小限としても此程度の値頃の持續性はあるものと一般に觀測せられて居るし、それに來月の花見月も半過ぎれば當然の需要期に向ふので、それぞれ手當も必要とせらるゝので需要も増加し在庫も過剰と云ふ程でもないで目先は一般に強調を豫期せられて居る。

丸 鋼。前述の様な原因から一般的に上向き歩調を辿つては居るがベース物は陸會の協定よりは稍下廻つては居る然しこれは末の100より今50的の材料が或程度まで消化せられるまでは止むを得ないものと見られて居る。

角、平。不相變平凡に推移して居る。

型 鋼。山形の中形物は荷動き、かなり活潑でバーの上伸につれて強氣配ではあるが大型物は未だ沈滞の域を脱せず特に溝、工は香ばしい事もない様である。それは近來鐵骨の建築にも大型の溝、工などを使用せずして山形を合せて其れを平や、板で繼ぐ様な形式が多くなつたのと、何時も云ふ様に大口物が直接メーカーへ走るのが原因して居る様である。型物會の協定が中に堅實であるのと取扱ふ店の数が少ないので市場の統制力もあり随つて地場は安定して居る模様である。

鋼 板。 $\frac{1}{16} \times 4 \times 8$  が品薄を傳へて極度に緊張し此12日に780錢の上伸振りを示して14圓15錢見當と云ふて居る向もある。其他は靜穩

線 材。大部分は實需家の手に握られて居るので市中の在荷は至つて品薄である。2月には横濱への輸入も相當あつたが東京方面の製造家が増産した向もあるので其方面に吸収せられて市場には何等の影響もない。然し大阪と比べると何と云つても市場も狭いので、相場も大阪に押され勝ちである。大阪も1月迄あまり高値の爲小工場が續々閉鎖したので2月下旬からチリ安歩調を辿つて来たが、2月25日頃より3月10日頃にかけて一氣に5圓方下押して91圓臺の呼聲さへあつた。此反動に加へて小工場の復活により需要も増加した割に入荷が少なかつたので今では95圓と引き返した模様である。

**高爐セメント新値** (前同)セメント價格回復の唯一の救濟策であるかの様に喧しかつた共同販賣機關設置問題は相變らず懸案となつて居たが、提案者の磐城セメントがその製品全部を5ヶ年間三菱商事に委託販賣する事に決定したので、漸くその影が薄くなり各社間の成行は一層興味つけられて来た。

乍然本春以來自然的に協調が保れる様になり、需要期に向つても依然操短が繼續せられるそうで、鐵道省への共同賣込みを初めとして、採算的な商談がホツホツ行はれ、最近市價は頗る強調を呈し先行樂觀を傳へられて居る。

生産數量が未だ少いので、一般セメント界の零圍氣から離れて獨特の地位を築いて居る當所高爐セメントは、前回報じた様に需要益増加して、現在の生産量では到底その半も充す事が出来なくなつて来た。

此の好況と需要期に向はんとする一般セメントの強調とによつて1樽10錢の値上を發表した。

1. (阪神、京濱、名古屋各指定河岸渡1樽に付)		2. (阪神、京濱、名古屋各指定河岸渡1袋に付)	
1000樽以上契約の場合	3圓75	1000樽分以上契約の場合	1圓152
500樽以上	" 3圓85	500樽分以上	" 1圓182
500樽未満	" 3圓95	500樽分未満	" 1圓212

自大正 15 年 1 月 至昭和元年 12 月 內地條鋼寸法別實產額表 鐵鋼協議會調查 單位 噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	2 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	23	7 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	190	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	308	2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	865 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	70	18 × 7	1,157	六角鋼	421	
3 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	679	1	1,329	9 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	11	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	11	6 × 3	22,910	31	20 × 7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	873	八角鋼	391	
1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	3,053	1 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	492	5 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	15	2 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	2,420	6 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	280	1,008	24 × 7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,393	半圓鋼	52	
5 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	2,815	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1,832	3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	18	3	2,580	6 × 4	27,623	4,346	工形計	9,193	溝付平鋼	1,381	
3 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	24,563	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,192	7 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	1	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	6,968	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	11,323	649	溝形	鋼	167		
1 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	19	1 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	1	1 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	4	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5,976	4	9,834	90	溝形	鋼	837		
7 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	1,482	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	1,262	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	100	5	7,099	5	1,067	91	3 × 1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,105	Z形鋼	1,829	
1 <sup>5</sup> / <sub>32</sub>	85	2	1,621	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	43	6	5,053	6	7,099	260	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 2	826	球山形鋼	7	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	50,599	2 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	111	1 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	160	7	160	7	13,570	36	4 × 2	1,136	リツツバー	4,719	
3 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	132	2 <sup>3</sup> / <sub>16</sub>	58	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	11	8	2,632	8	182	42	5 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2,213	特殊平	11	
5 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	44,267	2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	40	1 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	906	30m/m	86	30m/m	2,510	157	6 × 1.92	238	ユニバーサル	4,561	
1 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	139	2 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	1,514	2	—	40	10,265	40	6	23,844	6 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,377	槽圓鋼	10	
3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	51,423	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	—	2	526	等邊山計	8,221	60	81	鋼	6 × 3	3,090	軌	條	
1 <sup>3</sup> / <sub>16</sub>	144	2 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	406	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	18	不等邊山形鋼	8,840	工形	114,867	鋼	7 × 3	300	軌	條	
2 <sup>7</sup> / <sub>32</sub>	42	2 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	88	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	83	不等邊山形鋼	3,010	3 × 3	15	737	7 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	531	軌	211	
7 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	38,899	6	6	3 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	—	2 × 1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	4,456	4 × 3	18	939	8 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	939	軌	45,977	
1 <sup>5</sup> / <sub>16</sub>	64	3	4,632	5 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	1,911	2 × 1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,653	5 × 3	618	17	8 × 3	2,670	軌	40,968	
1	47,281	3 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	424	5 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	30	42 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 2	412	6 × 3	340	41	8 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	257	軌	4,743	
1 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	27	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	316,820	7 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	504	3 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	11	6 × 3	2,191	122	8 × 4	608	軌	3,902	
1 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	7,160	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	20	平鋼計	63,494	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	63,494	6 × 4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,584	32	9 × 3	288	軌	2,266	
1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	7,131	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	鋼	20	1,455	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 3	1,060	6 × 5	1,060	85	9 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,334	軌	2,931	
1 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	1,660	4	1,455	等邊山形鋼	146	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 3	1,075	7 × 4	1,075	47	9 × 4	42	軌	377	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	4,941	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	101	4 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	146	4 × 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,059	8 × 4	1,059	99	10 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	3,527	軌	9,471	
1 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	2,591	5	252	4 × 3	252	4 × 3	3,706	8 × 5	3,706	303	10 × 4	257	軌	27,571	
1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	5,145	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	467	3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	142	4 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	142	9 × 4	862	75	10 × 5	195	軌	21,125	
1 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	493	6	115	1	231	4 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	65	10 × 5	65	270	11 × 4	9	軌	159,542	
2	4,288	其他	139	1 <sup>3</sup> / <sub>16</sub>	888	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	—	10 × 6	84	378	12 × 3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2,081	繼目板	板	
2 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	401	角鋼計	4,203	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	23,001	5 × 3	498	12 × 5	926	949	15 × 4	2,313	繼目板	板	
2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1,793	平	1,093	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	3,247	12 × 6	2,485	1,494	溝形計	26,073	繼目板	板	
2 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	35	6	6	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	2	5 × 4	963	14 × 6	295	857	其他	條鋼	繼目板	板	
2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1,699	13 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	6	2	12,819	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> × 3	12,819	16 × 6	64	973	其他	條鋼	繼目板	板	

昭和三年一月神戶、大阪、橫濱、三港輸入鋼材寸法別總計表

(其一) 單位噸、噸以下四捨五入

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
丸	鋼	3 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	16	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	10	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	42	球	山形	鋼	12	溝	形	鋼	10	
3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	112	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	12	3	10	6	108	m/m	65×65	2	18×6	3×1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	160	3×1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	54	
5 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	36	3 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	1	4	23	計	1,312	90×75	4	156	18×7	4×2	7	4×2	15	
3 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	30	4	21	5	11	等邊	山形	130×90	2	27	18 <sup>1</sup> / <sub>16</sub> ×7.525	4×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	24	5×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	68	
7 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	37	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	122	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	10	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	53	150×70	2	37	20×7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	99	5×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	73	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	4 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	1	9 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	69	計	498	150×90	2	180	20×8	6×3	15	6×3	31	
5 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	187	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	76	計	498	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	37	計	37	198	22×8.5	7×3	6	7×3	20	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	183	4 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	3	平	鋼	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	198	工	形	鋼	108	7×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	10	8×2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1	
7 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	208	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	55	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	29	2	120	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	16	24×8 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	8×2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	17	8×3	45	
15 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	2	6	28	3 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	90	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	26	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	17	24×8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8×3	15	9×3	32	
1	89	6 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	88	3	23	5×3	5	5	20 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	10×3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	10	10×3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1	
1 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	1	7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	5 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	128	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	77	6×4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	9	4	8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	4	10×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	63	
1 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	15	8	16	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	110	4	59	7×4	15	15	8×4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	12×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	35	12×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8	
17 <sup>1</sup> / <sub>32</sub>	3	7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	25	7 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	128	5	160	8×4	12	12	12×65.5	15×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	62	15×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	79	
1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	42	9 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	608	1	128	6	38	8×5	41	41	12×92.5	15×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	62	15×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	
19 <sup>1</sup> / <sub>32</sub>	30	計	2,405	1 <sup>3</sup> / <sub>16</sub>	1	8	103	8×5.25	11	11	14×84	15×6 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	6	15×6 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	3	
13 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	4	角	鋼	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	84	200 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	339	9×4	38	38	14×100	100×50	12	100×50	49	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	44	3 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	46	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	計	52	9×4	8	8	14×115.5	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	31	
19 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	17	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	105	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	51	不等邊	山形	9×5.55	8	8	計	1,137	1,137	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	83	
15 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	22	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	134	2	31	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×2	39	10×4.66	2	2	計	8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	252	
13 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	40	5 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	184	2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	53	3×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	188	10×5.75	38	38	計	計	計	計	919	
17 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	6	3 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	28	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	80	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3	45	12×5	2	2	半	圓	鋼	鋼	8	
1 <sup>19</sup> / <sub>16</sub>	32	7 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	10	27 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	61	4×2	4	12×5 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	5	5	六	角	鋼	鋼	41	
2	35	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	15	3	67	4×3	24	12×6	66	66	八	角	鋼	鋼	12	
2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	28	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	6	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	7	5×3	42	12×6.25	6	6	波	形	丸	鋼	鋼	102
2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	31	5 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	1	3 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	31	6×4	192	15×5	49	49	其他	棒	鋼	鋼	9	
2 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	1	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	2	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	5	6×8	3	15×5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	2	バ	ク	鋼	鋼	1,347	
2 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	20	13 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	8	4	9	計	100	15×6 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1	1	計	計	計	計	計	
3	11	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	計	548	15×6 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	2	2	計	計	計	計	計	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	19	13 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	8	5	2	計	100	15×7	3	3	計	計	計	計	計	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	5	2	2	5	2	計	100	15×7	3	3	計	計	計	計	計	





昭和三年二月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材寸法別總計表 (其一)

單位、噸、以下四捨五入

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	14	9 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	103	3 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	10	計	1999	球山形	鋼	溝	鋼	75	
3 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	132	4	25	5 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	73	3 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	1	不等邊山形	鋼	5×3	11	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×2	鋼	30	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	176	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	78	3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	22	4	56	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×2	1	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3	18	3 <sup>15</sup> / <sub>16</sub> ×1 <sup>31</sup> / <sub>32</sub>	鋼	30	
5 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	175	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	132	7 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	2	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3	9	6×3	20	6×1 <sup>9</sup> / <sub>2</sub>	鋼	71	
1 <sup>1</sup> / <sub>32</sub>	1	1	1	1	5	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	4×3	70	6 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3	17	6×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	61	
3 <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	671	4 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	37	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5	4 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	1	4×3	70	7×3	17	6×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	1	
1 <sup>3</sup> / <sub>32</sub>	1	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	110	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	5	4 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	21	4×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	7×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	6×3	鋼	10	
7 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	3	2	40	2	12	5	84	4×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	6	8×3	5	7×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	30	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	149	3	47	3	14	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3	53	8×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	30	8×2 <sup>2</sup> / <sub>6</sub>	鋼	43	
5 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	34	6	63	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	5	6	59	5×3	70	12×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	8×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	32	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	167	6 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	9	4	19	6 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	5×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	6	其他	107	8×4	鋼	51	
7 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	218	6 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	37	7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	20	7	5	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	100	計	鋼	9×3	鋼	30	
1	24	7	9	9 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	20	22 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	5	6×1	4	工形	鋼	9×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	52	
1 <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	9	8	70	13	1	26 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	6×3	18	6×3	45	10×20 <sup>6</sup>	鋼	30	
1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	76	10	5	計	837	31	2	6×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	1	6×4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	70	10×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	11	
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	61	6 <sup>m</sup> / <sub>m</sub>	17	平	鋼	35	2664	7×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	2	7×4	10	10×3	鋼	208	
1 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	5	7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	279	平	鋼	計	2664	8×3	17	8×4	25	10×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	212	
1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	17	9	31	3 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	121	等邊山形	鋼	8×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	133	8×5	38	12×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	6	
1 <sup>13</sup> / <sub>16</sub>	1	12	920	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	418	3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	71	9×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	13	10×5	114	15×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	鋼	39	
1 <sup>7</sup> / <sub>8</sub>	14	13	158	5 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	378	3 <sup>4</sup> / <sub>4</sub>	177	10×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	8	10×8 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	229	15×4	鋼	12	
2	25	18	19	7 <sup>8</sup> / <sub>8</sub>	427	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	177	11×2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	44	12×5	89	100×50	鋼	119	
2 <sup>3</sup> / <sub>32</sub>	35	21	40	1	264	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	303	12×3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	48	12×6	49	5 <sup>1</sup> / <sub>1</sub>	鋼	61	
2 <sup>3</sup> / <sub>16</sub>	6	計	4594	1	181	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	647	100×75	9	15×5	20	8 <sup>1</sup> / <sub>1</sub>	鋼	3	
2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	1	角	鋼	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	129	2	166	140×90	3	15×5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	53	30	鋼	31	
2 <sup>15</sup> / <sub>32</sub>	10	3 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	58	1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	67	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	174	150×75	5	15×6	224	寸法不明	鋼	326	
2 <sup>5</sup> / <sub>8</sub>	37	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	98	1 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	54	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	67	150×90	1	16×6	46	計	鋼	1564	
3	27	5 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	151	2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	107	4	31	180×75	21	18×6	236	T形	鋼	18	
3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	45	7 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	126	2 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	1	5	20	200×75	4	18×7	35	5×3 <sup>9</sup> / <sub>16</sub>	鋼	18	
3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	23	1 <sup>1</sup> / <sub>32</sub>	8	3	91	6	129	250×90	5	20×6 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	222	計	鋼	18	
		3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	90	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	16	150	100	280×90	662	20×7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	11	半圓	鋼	63	
								計		24×7	209	六角	鋼	62	
										24×7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	18	其他	鋼	162	
										計	1753	其ノ他	鋼	162	
										計	1753	パイ	鋼	813	
										計	1753	リケン	鋼	813	
										計	1753	シート	鋼	813	



**海軍との新協定成立** (製鐵所販賣旬報 No 53. 4月1日) 國防に對する本所従業員の敬虔なる態度は、從來、陸海軍用材の製作に就ては規格檢定の難易、品目寸法の不統一、注文數量の僅少、仕別發送手續の複雑等凡ゆる難點を度外視し、只管、國防の要求する處を以て絶對として取扱ひ來つた。而かも吾等の努力も前述せるが如き各種の難點に妨げられて、必ずしも海軍當局の希望するが如き迅速と圓滑とを實現し得なかつた、此の點に着眼して起されたる兩當局數次の會合の結果として今回大體次記の如き新協定の成立を見た。これは海軍當局の非常なる英斷であり、本所に對する深甚の好意の表明であつて、吾等としても亦之に酬ゆべく最大の努力と研究とを重ぬべきであらう。

1. 海軍用材に就ては各工廠造船會社に於て合同注文を爲すの趣旨に於て、今後2ヶ年の間に使用する見込充分なる鋼材の全部に就き一括して注文すること
2. 以上注文品は本所に於て一定期間内に作製を了し、之を「海軍指定在庫品」の名稱の下に在庫し置き海軍側より要求あり次第出庫發送するものとす
3. 以上の外海軍注文品製作の序に發生したる規格品は其の都度海軍監督官の検査を乞ひ其の合格品のみを前項に準じて取扱こと。これを「海軍注文指定外在庫品」とす
4. 以上兩種在庫品の保管發送に就ては製鐵所に於て相當研究を爲し其の萬全を期すこと。
5. 以上兩種在庫品より採用する分に對しては若干の値引を爲して、可成この方法を利用する様獎勵すること。

以上の外次記2點に關し海軍側の誠意ある了解を得て居る。

1. 海軍規格の統一單純化を研究し可成速に其の實行を期すこと。
2. 海軍に於て使用すべき品種寸法を制限し之を單純化する研究し可成速に其の實行を期すること。

**軌條需給大觀** (前同) 優秀なる品質と妥當なる販賣政策とは内地軌條の名聲をして中外に輝かしめ、鋼材市場に瀰漫し來つた「内地品を以て滿し得ざるものに非ざれば外註すべからず」の國産第一主義は特に軌條に於て動かすべからざる原則となつた。最近に於ては内地生産能力及ロール設備を以てして尙且年々變遷増大しつつある本邦需要に追隨し得ざる已むを得ぬ部分のみを輸入として殘してゐる。只輕軌條は國産本位に轉換する道程として近年に於ても多少不純なる輸入を見た。

最近4ヶ年間の内地生産高及輸入高は次の通り。(昭和元年迄の本所生産は會計年度に依り、其他は曆年。)

**重 軌 條** (輸入には寸法不明のものを含まず)

	本所生産	民間	輸入	計
大正 13 年	65,855	—	84,273	150,128
14 年	117,815	—	36,749	154,564
昭和 元年	139,528	—	56,231	195,759
2 年	146,859	—	66,019	212,878
<b>輕 軌 條</b> ( " )				
大正 13 年	8,395	11,271	18,192	37,858
14 年	8,593	12,962	18,767	40,322
昭和 元年	11,873	7,022	34,241	53,136
2 年	19,091	4,139	21,473	44,703

内地生産高及輸入高を以て需要高と看做し、最近2ヶ年間を封度別に分類すれば次の通りとなる。Groove rail, Guard rail 及び High T rail は市電用軌條として一括した。

	昭和元年	2 年	100 封 度	昭和元年	2 年
市電用軌條	11,186	8,884		4,375	39,565

46 封度	—	415	20 封度	5,295	3,699
80 封度	—	1,250	18 封度	6,730	6,265
75 封度	89,785	85,147	16 封度	3,266	4,844
60 封度	83,555	76,104	12 封度	28,549	15,865
45 封度	6,858	1,513	9 封度	419	339
40 封度	369	135	寸法不明	3,895	1,364
30 封度	5,773	9,960	計	252,990	258,945
25 封度	2,735	3,596			

六月渡先物賣行概況——申込減少 (前同)1. 條鋼。賣出噸数は 1.2 小形工場 2,000 噸、3 小形 2,000 噸、線材 500 噸、1 中形 2,000 噸、2 中形 2,000 噸、1 大形 3,000 噸、2.3 大形 3,000 噸、軌條 500 噸、合計 15,000 噸。

	申 込 噸 數							
	丸	角	平	等邊	不等邊	溝	工	計
東 京	540	193	412	365	310	634	785	3,239
大 阪	170	115	305	785	544	1,705	959	4,583
名 古 屋	30	46	25	—	—	—	—	101
其 他	126	88	334	129	—	21	—	698
計	866	442	1,076	1,279	854	2,360	1,744	8,621

申込噸数を前月と比較すれば先づ揚地別では東西何れも 2,000 噸方減少し、品種別では棒鋼及山形が激減し、溝、工形のみ著増となつて、全體としては約 5,300 噸の減少である。而して之れが原因は 6 月頃以後の不需要期なることや前月思惑買付等の附隨的なものを除けば、専ら海外氣配に隨從した本所先物値段の左右する所と見られてゐる。即ち棒鋼山形鋼では 3 圓値上に對し海外軟化を虞れて申込を控へ、溝、工形では据置値段に對し、大陸の firm tendency に乘じて申込を増加してゐる。

## 引受數量 (定期の分を含む)

品 名 工場名	丸 鋼	角 鋼	平 鋼	等 邊 山形鋼	不等邊 山形鋼	溝形鋼	工形鋼	計
線 材	702	—	—	—	—	—	—	702
一 小	949	309	3,206	522	—	—	—	4,986
三 小	5,406	179	—	672	—	—	—	5,897
一 中	102	28	1,372	—	264	283	—	2,049
二 中	645	176	—	2,005	347	—	—	3,173
一 大	—	—	—	—	687	1,925	536	3,148
二 大	—	—	—	1,285	322	480	463	2,550
三 大	—	—	—	20	—	—	147	167
軌 條	—	—	—	—	—	553	711	1,264
計	7,444	692	4,578	4,504	1,620	3,241	1,857	23,936

2. 鋼板。次表申込噸數で厚板の減少は先月の本所引受が案外多かつた反動と見られ、中板類の増加は良好なる市況を反映するものである。

厚 板	申 込 噸 數				計
	東 京	大 阪	名 古 屋	其 他	
	523	710	345	134	1,712

一 中 板	4,378	4,300	140	103	8,921
二 中 板	2,651	7,055	93	344	10,143
計	7,552	12,065	578	581	20,776

賣 出 及 決 定 噸 數

	賣 出	決 定		賣 出	決 定
厚 板	1,000	1,019	二 中 板	1,000	1,000
中 一 板	500	500	計	2,500	2,519

3. 線材。3 月初旬の激落後、市況が再び強調に轉じた爲、申込も左程の減少とならなかつた。

線 材	賣 出 { 1,000	申 込 { 3,560	決 定 { 1,000
製 釘・材	2,600		2,600

軌條輸入値段強調——本所建値引上 (前同)E・R・M・A の重軌條益々強調を續け、輕軌條も既報の通

り大陸普通鋼材と歩調を揃へて騰貴してゐる。現在の輸入値段は

Heavy rail	Rail	8—2—6
	Splice bar	10—2—6
Light Rail	average	6—9—0

海外値段の強調に連れて三軌會及六軌會協議の結果重輕何れも 1 圓引上、一般賣建値を次記の如く改正した。

重 軌 條 (3 月 26 日改正)	輕 軌 條 (3 月 19 日改正)
10 哩 以 下 103圓	5 哩 未 滿 94圓
10 哩 超 101圓	5 哩 以 上 92圓
20 哩 超 100圓	15 哩 以 上 90圓

黑板市況 (前同)黑板 13 枚物外註値段米國品 74 弗、獨逸品 14 磅 17 志、英國品及川崎賣値は次の通り。

	英國品輸入値段	川 崎 値 段
2 月 15 日	15-0-0 (193 圓 30 錢)	193 圓 50 錢
18 日	14-18-0 (191.84)	192.00
22 日	14-19-6 (192.63)	193.00
3 月 1 日	14-17-0 (191.70)	192.00
7 日	14-19-0 (192.77)	193.00
14 日	〃 〃	194.00

地場は製品が需要期に係らず賣行はかばかしくない爲、原板も依然伸惱み、保合の域を脱せぬ。本月の本所黑板落札値段 (13 枚物) 次の通り。

開 札 日	第一薄板工場製	第二薄板工場製
3 月 25 日	185 圓 15 錢—183.30	186.20—184.10
(前 月)	185.17—185.12	187.21—185.91

東京市況 (前同)下旬に入つてから總ては順調で地方の需要も相當擡頭し、従つて地場も小駢りを見せて居たが、永らく動かなかつた爲替が 24 日より強調を示し、27.8 日に到り突如硬化して 1 志 11 斤 8 分 5.48 弗丁度と爆發したの一寸頭打との姿となつた。然し今の處としては市場には大した變化も見られぬ。又海外の反動安も若干は豫期せられぬでもないが 4. 5. 6 月は輸入の激減を豫想して居ることとて目先一般に大した下押しもあるまいと云はれて居る。然し此昂騰に刺戟せられて大手筋から相當の外註があつた模様である。

丸鋼。大體に強氣保合を續けて居るが特に 3/8 や 1/2 が品薄を傳へて目先上伸を豫期せられて居る。

鋼板。全般的に何時も供給が不足勝ちであるが、 $\frac{3}{8}$ や $\frac{1}{8}$ は比較的順調の供給があるので大した波瀾もないが、 $\frac{1}{16}$ などは到底需要を充し兼ねる上に追々と需要期節に向ふので前旬同様に薄状態を續けて未だ先高を豫想せられて居る従つて此度の爲替硬化の機を逸せず大部外註に走つた模様である。

型钢。等山、不等山は小旋りを見せて居る。溝、工は中間寸法物は保合状態であるが工形の  $4 \times 8$ 、 $5 \times 6$ 、 $5 \times 8$  は東西市場共品薄で高値を呼んで居る。又  $3 \times 6$ 、 $4 \times 7$  は特に大阪高の爲東京より移送された模様である。

外國爲替市中相場

月日	Mar.22	23	24	25	27	28	29	30	31
日 英	$\frac{1}{11} - \frac{3}{32}$	$\frac{1}{11} - \frac{1}{8}$	$\frac{1}{11} - \frac{1}{4}$	"	$\frac{1}{11} - \frac{7}{16}$	$\frac{1}{11} - \frac{5}{8}$	$\frac{1}{11} - \frac{7}{16}$	"	$\frac{1}{11} - \frac{17}{32}$
日 米	$46 - \frac{15}{16}$	47	$47 - \frac{1}{4}$	"	$47 - \frac{5}{8}$	48	$47 - \frac{5}{8}$	"	$47 - \frac{13}{16}$
日 佛	11,80	11,85	11,85	11,90	11,95	12,10	12,05	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京市中相場 (3月29日)

鋼板	$\frac{1}{16}'' \times 4'' \times 8''$	13.87 (5.20)	等邊山形	$\frac{3}{8}'' \times 3'' \times 3''$	9.33 (3.50)
"	$\frac{1}{8}'' \times 4'' \times 8''$	11.20 (4.20)	"	$\frac{1}{2}'' \times 5'' \times 5''$	9.47 (3.55)
"	$\frac{3}{8}'' \times 4'' \times 8''$	10.67 (4.00)	不等邊山形	$\frac{3}{8}'' \times 2'' \times 3''$	9.47 (3.55)
薄鋼板	十三枚物(英)	.74	"	$\frac{3}{8}'' \times 4'' \times 6''$	9.33 (3.50)
"	"(米)	7.5	溝形	$1\frac{1}{4}'' \times 2'' \times 4''$	9.33 (3.50)
丸鋼	$\frac{3}{8}''$	9.33 (3.50)	"	$\frac{3}{8}'' \times 3\frac{1}{2} \times 10''$	9.73 (3.65)
"	$\frac{1}{2}''$	9.33 (3.50)	工形	$\frac{1}{4}'' \times 3'' \times 6''$	9.60 (3.60)
"	$\frac{3}{4}''$	9.01 (3.38)	"	$\frac{3}{8}'' \times 12'' \times 6''$	9.60 (3.60)
"	1''	9.01 (3.38)	線材	5#	95.00
角鋼	$\frac{3}{4}''$	9.07 (3.40)	鋺力(米國品)	170 封度	23.50
平鋼	$\frac{1}{4}'' \times 3''$	9.20 (3.45)	"	100 封度	12.60
"	$\frac{1}{2}'' \times 4''$	9.33 (3.50)	"(英國品)	170 封度	22.50
			"	100 封度	11.50

備考、單位100疋につき(括弧は10貫目)。但し薄板は1板當り。線材は1疋當り。鋺力板は1箱當り。

昭和三年二月分契約高

品種	官廳小計		民間小計		二月		合計		本年度		累計
	噸	金額	噸	金額	噸	金額	噸	金額	噸	金額	
大	258	31,238	11,527	1,028,539	11,781	1,059,778	84,881	8,328,942	84,881	8,328,942	98.12
中	315	43,915	9,694	853,693	10,010	897,608	89,730	8,216,599	89,730	8,216,599	91.57
小	150	22,319	17,601	1,552,500	17,751	1,574,819	159,635	14,165,029	159,635	14,165,029	88.73
鋼	766	130,107	15,319	1,531,925	16,086	1,662,033	155,376	16,479,345	155,376	16,479,345	106.06
重軌條及附屬品	2,639	261,612	6,491	641,395	9,131	903,038	182,613	17,930,369	182,613	17,930,369	98.19
輕軌條及附屬品	423	44,520	15	1,596	438	46,117	16,265	1,539,056	16,265	1,539,056	94.82
線			4,100	350,650	4,100	350,650	48,950	4,095,417	48,950	4,095,417	83.66
黑板、珪素鋼板、錳力板	15	3,916	4,026	850,590	4,042	854,536	35,428	7,429,697	35,428	7,429,697	209.71
車軸、外輪、鍛成品	9	1,788	80	18,323	89	20,112	7,919	2,072,805	7,919	2,072,805	261.75
工具鋼、特殊鋼			274	70,592	274	70,592	2,094	337,248	2,094	337,248	161.05
短尺及屑鋼			12,905	984,196	12,905	984,196	86,660	6,542,856	86,660	6,542,856	75.50
其他鋼材		545				545	430	46,648	430	46,648	108.31
鋼材小計	4,574	540,025	82,038	7,884,003	86,612	8,424,028	869,986	87,181,017	869,986	87,181,017	100.21
鋼片、鋼塊、シートバー			8,536	581,761	8,536	581,761	93,045	6,226,352	93,045	6,226,352	66.92
副成		22,865		571,683		594,548		5,300,939		5,300,939	
其他											

備考 1. 單位、噸及圓 2. 噸及圓以下切捨に付合計は符合せず。

## 昭和貳年外國銑輸入高表

(銑鐵共同組合寄)

港 別	輸 出 國 別	1 月 - 6 月	7 月 - 12 月	計 (1 - 12 月)	前 年 に 比 し 増 減
横 濱	支 印 那 度	—	2,847	2,847	+ 2,847
	支 印 英 瑞 獨 那 度	40,811	59,943	100,754	+ 34,022
	支 印 英 瑞 獨 那 國	368	573	941	- 412
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	164	164	- 76
	支 印 英 瑞 獨 那 國	257	—	257	+ 257
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	51	51	+ 51
	ア フ リ 計	41,436	63,578	105,014	+ 36,689
神 戶	支 印 那 度	266	363	629	+ 629
	支 印 英 瑞 獨 那 國	12,462	1,593	14,055	- 36,353
	支 印 英 瑞 獨 那 國	511	420	931	- 5,167
	支 印 英 瑞 獨 那 國	51	51	102	—
	支 印 英 瑞 獨 那 國	61	—	61	+ 61
	支 印 英 瑞 獨 那 國	256	1,008	1,264	+ 1,264
	耳 計	512	1,024	1,536	+ 770
	ア フ リ 計	14,119	4,459	18,578	- 38,796
大 阪	支 印 那 度	—	2,419	2,419	- 1,407
	支 印 英 瑞 獨 那 國	55,441	63,387	118,828	+ 32,927
	支 印 英 瑞 獨 那 國	1,415	3,491	4,906	+ 4,702
	支 印 英 瑞 獨 那 國	205	307	512	+ 512
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	256	256	+ 256
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	69,860	126,921	+ 36,990
	計	57,061	69,860	126,921	+ 36,990
門 司	支 印 那 度	—	—	—	—
	支 印 瑞 獨 那 國	16,133	11,052	27,185	+ 3,357
	支 印 瑞 獨 那 國	1,150	—	1,150	+ 1,150
	支 印 瑞 獨 那 國	—	302	302	+ 302
	支 印 瑞 獨 那 國	—	304	304	+ 304
	支 印 瑞 獨 那 國	17,283	11,658	28,941	+ 5,113
	耳 計	17,283	11,658	28,941	+ 5,113
其 他	印 獨 度 逸	1,886	512	2,398	- 183
	印 獨 度 逸	102	102	204	+ 204
	印 獨 度 逸	1,988	614	2,602	+ 21
	計	1,988	614	2,602	+ 21
合 計	支 印 那 度	266	5,629	5,895	+ 2,069
	支 印 英 瑞 獨 那 國	126,733	136,487	263,220	+ 33,770
	支 印 英 瑞 獨 那 國	2,294	4,484	6,778	- 877
	支 印 英 瑞 獨 那 國	51	51	102	+ —
	支 印 英 瑞 獨 那 國	1,416	471	1,887	+ 1,647
	支 印 英 瑞 獨 那 國	615	1,668	2,283	+ 2,283
	支 印 英 瑞 獨 那 國	512	1,328	1,840	+ 1,074
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	51	51	+ 51
	支 印 英 瑞 獨 那 國	—	51	51	+ 51
	ア フ リ 計	131,887	150,169	282,056	+ 40,017



## 昭和三年一月中外國銃輸入高

(銃鐵共同組合寄)

輸出國	輸入港	横濱	神戸	大阪	門司	其他	計
	印度		9.038		16.860	1.408	
英國		461	1.075	410			1.946
白耳	義國				205		205
米	國典		4.404				4.404
瑞						296	296
計		9.499	5.479	17.270	1.613	296	34.157

備考 大藏省主税局調査の數字は單位擔なるを以て之を 1 擔 0.06048 噸の割合にて換算したり。以上

## 昭和三年二月中外國銃輸入高

(銃鐵共同組合寄)

輸出國	輸入港	横濱	神戸	大阪	門司	其他	計	一月以降計
	印度		8.755	768	12.893	4.402	1.036	27.854
英國		440	819				1.259	3.205
佛	國		102				102	102
白耳	義國		307		202		509	714
米	國典							4.404
和	蘭		101				101	101
瑞	典	164				674	838	1.134
計		9.359	2.097	12.893	4.604	1.710	30.663	64.820

備考 大藏省主税局調査の數字は單位擔なるを以て之を 1 擔 0.06018 噸の割合にて換算したり 以上